

□演習科目（研究指導科目）

科目名	スポーツ科学研究IV	2単位
担当者	藤田紀昭、小林寛和、三井利仁、住田健、西村直記、松田有司、山本真史、吉岡隆之	
テーマ	調査・実験の結果を検討し、修士論文を執筆する。	
科目のねらい	<p><キーワード> 1 研究計画 ② 結果の検討（考察） ③ 修士論文執筆 ④ 研究論文発表会</p> <p><内容の要約> 本授業では調査・実験の結果を検討し、修士論文を執筆し、修士論文発表会で報告を行う。</p> <p><学習目標> 1. 調査・実験の結果を適切に検討することができる。 2. 修士論文を完成させることができる。 3. 修士論文の内容を適切に発表することができる。 4. 適切に修士論文を修正することができる。</p> <p>担当教員の研究指導分野次のとおりである。いずれにおいても研究目的を明確にし、適切な研究方法を用い、大学院生が主体的に取り組み、修士論文を作成するように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新井博：スポーツ史分野の研究指導を行う。ヨーロッパ、アメリカ、日本を含むアジア諸国における各時代におけるスポーツの実態や普及、組織化等に関する研究を指導する。 ・藤田紀昭：スポーツ社会学、障害者スポーツ分野の研究指導を行う。障害者のスポーツを含むスポーツ事象の発生機序、意味や構造、メディア分析、歴史社会学等の研究を指導する。 ・吉田文久：スポーツ人類学分野の研究指導を行う。伝統スポーツの伝承や存続条件、各時代、社会における生活構造とスポーツ文化の関係性や変遷の実態等に関する研究を指導する。 ・小林寛和：スポーツ理学療法分野の研究指導を行う。スポーツ動作、スポーツ障害の発生機序と防止方法、スポーツリハビリテーションの方法や効果等に関する研究を指導する。 ・三井利仁：健常者および障害者のスポーツコーチング分野。健常者および障害者のコーチングの方法、コーチングに関するデータと分析、リスクマネジメントに関する研究を指導する。 ・住田健：スポーツマネジメント、スポーツビジネス分野の研究指導を行う。スポーツ組織のマネジメントに関わる諸課題、法律やファイナンス、スポーツ消費者やマーケットセグメンテーション等に関する研究を指導する。 ・西村直記：スポーツ生理学、環境生理学分野の研究指導を行う。高地環境下、寒冷環境下、暑熱環境下でのトレーニング効果や生理機能の変化、運動と熱中症や体温調節等に関する研究を指導する。 ・松田有司：身体運動学分野の研究指導を行う。身体構造と機能、スポーツバイオメカニクス、パフォーマンス分析、運動制御に関する研究を指導する。 ・山根真紀：トレーニング方法分野の研究指導を行う。各ライフステージにおけるトレーニング効果、効果的かつ安全な運動処方、女性のトレーニング等に関する研究を指導する。 ・吉岡隆之：健康教育学、発育発達学、行動科学分野の研究指導を行う。ヘルスプロモーションをふまえた発育発達、行動変容、ホリスティック等に関する研究を指導する。 	

<p style="text-align: center;">授業の 進め方</p>	<p>第 1 回 調査・実験の結果の検討① 第 2 回 調査・実験の結果の検討② 第 3 回 調査・実験の結果の検討③ 第 4 回 修士論文の執筆① 第 5 回 修士論文の執筆② 第 6 回 修士論文の執筆③ 第 7 回 修士論文の執筆④ 第 8 回 修士論文の執筆⑤ 第 9 回 修士論文の執筆⑥ 第 10 回 修士論文の執筆⑦ 第 11 回 修士論文の執筆⑧ 第 12 回 修士論文の執筆⑨ 第 13 回 修士論文発表会 第 14 回 修士論文の修正① 第 15 回 修士論文の修正②</p>
<p>事前学習の内容 学習上の 注意</p>	<p>< 事前 > 授業の終了時に次回の内容を説明するので、その内容に沿って予習をする。(1 時間) < 事後 > 授業内容の復習をする。(1 時間)</p>
<p>本科目の 関連科目</p>	<p>スポーツ科学研究Ⅰ、スポーツ科学研究Ⅱ、スポーツ科学研究Ⅲ</p>
<p>テキスト</p>	<p>特に指定しない</p>
<p>参考文献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出村慎一・山次俊介『卒業論文/修士論文の書き方』杏林書院 ・ 監修/出村慎一 編集/山下秋二・佐藤進『健康・スポーツ科学のための調査研究法』杏林書院 ・ 出村慎一『健康・スポーツ科学のための研究法』杏林書院
<p>成績評価方法 と基準</p>	<p>修士論文 80% 修士論文発表会の内容 20% 100 点満点で 60 点以上を合格とする</p>